



大本堂前に監督、コーチ、全選手が集合

今シーズンの必勝を祈願

千葉ロッテマリーンズの選手たちが初詣

プロ野球のキャンプインを1週間後に控えた1月25日、千葉ロッテマリーンズの監督、コーチ、選手、球団幹部・スタッフら総勢約90人が成田山新勝寺を参詣しました。ことは日本一に輝いた2010年シーズン以来となる選手全員での参加。新勝寺の勝御守^{かちおんまもり}を身に着けた一行は、大本堂で御護摩^{おごまき}祈禱を受け、今シーズンの必勝を祈願しました。また、市内出身の唐川侑己投手は、写真撮影やサインの求めに気さくに応じながら、地元ファンからの声援を受けていました。



笑顔でサインに応じる唐川投手



ポリ袋やビニール傘を使って、海の生き物を表現

加良部小合唱部が熱唱

ふれあいコンサート

毎月1回、市役所で開催している「ふれあいコンサート」。1月23日には、加良部小学校合唱部によるコーラスが行われました。子どもたちの伸びやかで澄んだ歌声に、集まった聴衆はうっとりとして聴き入っていました。このほかにも、絵本「スイミー」の世界を歌と演技を交えて表現し、かわいらしいパフォーマンスで会場を沸かせました。

小泉地区が3連覇

久住地区一周駅伝大会

久住地区の冬の恒例行事「久住地区一周駅伝大会」が1月12日、久住公民館をスタート・ゴールに行われました。大会は、地元住民で構成された7チームによって争われ、14区間に分けられた約20kmのコースを走りました。優勝した小泉地区のアンカーを務めた小学5年生の小川一歩^{かずほ}さんは「3連覇を狙っていた。1位でたすきを受けたので、絶対にリードを守り切ろうと思った」と興奮気味に話していました。



8区から9区の走者へ、2位でたすきをつないだ小泉地区



神前で厳肅な空気に包まれて

豊凶占いを古式ゆかしく

麻賀多神社の筒粥祭

ことしの農作物の出来などを占う「筒粥祭」が1月14日、麻賀多神社(台方)で行われました。まず日中に、米・小豆と共に、20cmほどに切りそろえた^{つがゆ}葦の茎をすだれ状に編んだ束を、数時間掛けて大鍋で煮込みます。午後6時ごろ、神前で、大鍋から取り出した葦を1本ずつ小刀で縦に割り開き、筒の中の粥の入り具合で26項目を占います。深い森に囲まれ静寂に包まれた本殿で、厳かな雰囲気の中、宮司により、占いの結果が一つ一つ読み上げられていきました。

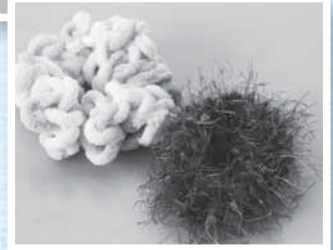
おしゃれな髪飾りを自分の手で

指あみでシュシュを作ろう

ストローや指などを使って、2種類の毛糸の髪飾りを作る「指あみでシュシュを作ろう」が1月26日、子ども館で行われました。参加した小学生12人は、色も太さもさまざまな毛糸の中から自分の好きな物を選び、親指と人差し指に巻きつけて、鎖状に編んでいきました。やがて毛糸の長い鎖ができると、鎖の穴にゴムを通し、両端を結ぶとシュシュが完成。参加者は出来上がったシュシュを髪に着けて、うれしそうに見せ合っていました。



ストローにも毛糸を巻き付ける作り方にも挑戦



完成したシュシュ(左が指編み)



ロールパンは焼く前に形を整えて



全3品が完成

寒い日をおいしく温かく

冬のあったか料理教室

冬をぽかぽかと過ごせる料理を学ぼうと「冬のあったか料理教室」が1月20日、中央公民館で行われました。13人の参加者が挑戦した献立の中心は、旬の冬野菜を使ったポトフ。鍋で炒めた野菜と豚肉を、酒や白だしを使って

柔らかくなるまで煮込みます。蜂蜜をたっぷり使ったロールパンとプリンを添えて、その日のメニューが完成。参加者の1人は「簡単に作れておいしかった。家でも家族に作ってみたい」と話していました。